



兵庫県指定文化財「^{いわくら}磐座神社のコヤスノキ^{そうりん}叢林」の 後継樹が里帰り

—^{りんぼく}林木遺伝子銀行 110 番による樹木の増殖サービス—

ポイント

兵庫県指定文化財「^{あいおいし}磐座神社のコヤスノキ^{りんぼくいくしゅ}叢林」（相生市）の後継樹の苗木が、国立研究開発法人
森林研究・整備機構 森林総合研究所 林木育種センター関西育種場から里帰りします。

概要

国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 林木育種センター関西育種場（岡山県勝田郡勝央町）では、我が国の貴重な林木遺伝資源の保全を図るとともに、品種改良等に活用することを目的とした林木ジーンバンク事業を実施しています。

この事業の一環として、各地の天然記念物や巨樹・名木等の収集・保存と併せて、所有者等の要請により後継樹を増殖するサービス「林木遺伝子銀行 110 番」を行っています。このサービスを利用した磐座神社 小林宮司から増殖の要請を受けて、さし木により増殖し育てた「磐座神社のコヤスノキ叢林」の後継樹の苗木が里帰りします。

- 里帰り日時及び場所 日 時：令和3年3月24日（水曜日）13時30分（雨天決行）
場 所：兵庫県相生市矢野町352 磐座神社
- 里帰りする苗木本数 3本

お問い合わせ先

- 国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所林木育種センター関西育種場
事業責任者：遺伝資源管理課 課 長 坂本 庄生（さかもと しょうき）
担当者： 収集管理係長 山本 あゆみ（やまもと あゆみ）
広報担当者：連絡調整課 連絡調整係長 林 勝洋（はやし かつひろ）
Tel：0868-38-5138 Fax：0868-38-5139

- 相生市教育委員会
担 当 者：生涯学習課 文化財係 桑本 健一
Tel：0791-23-2961 Fax：0791-23-2961

本資料は、兵庫県政記者クラブに配付しています。

背景

全国には、学校や神社など身近な場所で地元の人々に親しまれ、ふるさとのシンボルとなっている巨樹・名木等が数多く存在します。こうした巨樹・名木等は、長い年月にわたって、風雪に耐え生育し続けているので、自然環境に対する適応性や抵抗性に優れている可能性が高く、林木遺伝資源として貴重なものです。

このため、関西育種場では、天然記念物や巨樹・名木等の収集・保存を進めるとともに、樹木が衰弱している等で所有者等からの要請により後継樹の苗木を増殖するサービス「林木遺伝子銀行110番」を平成15年から実施しています。当育種場では令和元年度までに95件の巨樹・名木等の後継樹の里帰りを実施してきました。後継樹の苗木は、さし木や接ぎ木で増殖したクローン苗木であり、親木と同じ遺伝子を持っているので、二代目として成長することが期待されます。

内容

今回里帰りする後継樹の親木は、兵庫県相生市にある兵庫県指定文化財「磐座神社のコヤスノキ叢林」にある3本です。

コヤスノキはトベラ科の常緑低木で、わが国では兵庫県西播磨地方南部と岡山県東部にしか生息していない大変希少な植物です。磐座神社の社叢はコヤスノキが比較的旺盛に繁茂していたため、昭和59年に兵庫県指定文化財となりました。

しかし、周辺の高木伐採による急激な日照環境の変化により、平成28年には6本、現在は3本にまで減少しました。地元では平成28年にコヤスノキ保全会を立ち上げ保全活動を行ってきましたが、希少な遺伝資源が無くなることを危惧した磐座神社 小林宮司が相生市教育委員会に協議のうえ、関西育種場に林木遺伝子銀行110番の利用申請を行いました。

そこで、関西育種場が親木から枝（穂木）を採取し、さし木増殖を試みしました。無事増殖に成功し、野外に植栽しても生育できる見込みがたった3本を令和3年3月24日に里帰りさせることとなりました。

写真



磐座神社社叢のコヤスノキ（親木）



さし木増殖の実施状況



里帰りする後継樹の苗木